

## 四分の三発表会に向けて ～ポスターを作り始めよう2～

ポスターづくりの第2弾です。先日のプレゼンの内容を復習しましょう。

### 【人間の思考に合った配列】

人間の思考に合った配列とは「上から下」「左から右」です。そのためポスターは右の図のような配列にします。この原則は、絶対です。変えてはいけません。

### 【研究の全体像がすんなり理解できるストーリー性】

研究全体を一度ストーリーにしてみましょう。「A から B になって、C だから D になって、B と D の結果から E という仮説が立てられる。その仮説 E を実験 F で確かめた。その結果、G という新たな仮説を立てることができた」のように考えます。

### 【適度な視覚化 文字を減らす】

ポスターはざっと 5 分程度で全体像を理解するのが理想です。そうすると文章が長くなると誰も読んでくれません。写真、表、グラフ、図などでわかることは、視覚化して、イメージに訴えます。その上で、文章を使います。文章もできるだけ箇条書きにします。

### 《例》

試料 a にそれぞれ体積モル濃度で 0.5mol/L、0.8mol/L、0.4mol/L、0.2mol/L の薬品 A、B、C、D を加えたところ、A と C のみ反応し、A は緑色、C は赤色の沈殿が発生した。



試料 a に 4 種類の試薬を加えたところ表 1 のような反応をした。(×は反応なし)

表 1 試薬 a と薬品 A、B、C、D との反応

| 薬品         | A   | B   | C   | D   |
|------------|-----|-----|-----|-----|
| 濃度 (mol/L) | 0.8 | 0.4 | 0.2 | 0.5 |
| 反応(沈殿)     | 緑色  | ×   | 赤色  | ×   |

|                                |                     |
|--------------------------------|---------------------|
| タイトル (タイトルで研究が伝わるように)<br>所属 氏名 |                     |
| 要旨 (2行から3行で) 全体像がわかるように        |                     |
| 1. はじめに                        | (3-2のつづき)<br>3-3 考察 |
| 2. 実験 1 ○○○○<br>2-1 実験器具・方法    | 4. 実験 1・実験 2 の考察    |
| 2-2 結果                         |                     |
| 2-3 考察                         | 5. まとめと今後の課題        |
| 3. 実験 2 △△△△<br>3-1 実験器具・方法    | 6. 謝辞               |
| 3-2 結果                         | 7. 参考文献・Appendix    |

### 【「実験方法・実験結果・考察」は箇条書きで！】

「要旨」は文章で書きます。「はじめに」は文章の場合と箇条書きの場合とあります。どちらが良いかはないう次第なので、担当の先生に相談してください。「実験方法」「実験結果」「考察」は箇条書きの方が良いでしょう。

### 【優先順位の低い情報は無理に盛り込まない】

ポスターの紙面に書ける文章や図などの量は限られています。ストーリー展開と関係の薄い情報は、思い切ってカットしましょう。

### 【とにかくできるところから書き込め！】

例えば「実験方法」「実験結果」はすぐにもかけろ。そして「要旨」「はじめに」は最後に！

結論がかけないと「要旨」も「はじめに」もかけないぞ

### 【その他】

- ①ストーリーの構成は右上のポスターの例に示したとおりです。
- ②結果と考察がごちゃごちゃにならないように注意しましょう。よくあるのは「考察」に「結果」を書いてしまうことです。
- ③フォントは「MS ゴシック」や「MSP ゴシック」などオーソドックスなものを（デフォルトのフォントは使わないこと。一度文字を打ち込んだら確認してみましょう）